



Inohana Campus
亥鼻キャンパス

千葉大学キャンパスマスタープラン 2012 資料編②
「現状と課題」

Inohana Campus 亥鼻キャンパス

千葉大学キャンパスマスタープラン 2012

資料編② 亥鼻キャンパス「現状と課題」

目次

キャンパス概要

亥鼻キャンパス	77
---------	----

1 土地利用と建物配置

1-1 周辺地域・土地利用	78
1-2 機能別ゾーン	79
1-3 建物デザイン・高さ	80
1-4 建物老朽	81
1-5 講義室	82

2 インフラ計画

2-1 交通動線	83
2-2 駐輪場	84
2-3 駐車場	85
2-4 基幹設備	86
2-5 エネルギー消費量・CO ₂ 排出量	87

3 パブリックスペース

3-1 学生スペース・交流スペース	88
3-2 広場・オープンスペース	89
3-3 樹木・緑地	90
3-4 シンボル・歴史資源	91
3-5 サイン・情報揭示	92

4 安全・安心

4-1 耐震改修	93
4-2 犯罪・事故	94
4-3 外灯	95
4-4 バリアフリー	96
4-5 避難場所	97
4-6 喫煙場所	98
4-7 廃棄物	99
4-8 都市型豪雨	100

5 その他

5-1 全学共同利用スペース	101
5-2 宿舎	102

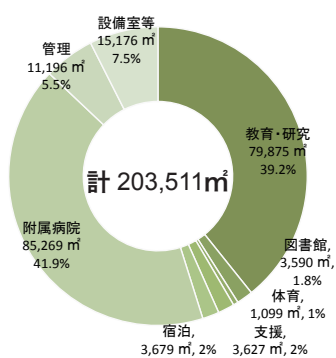
亥鼻キャンパス概要



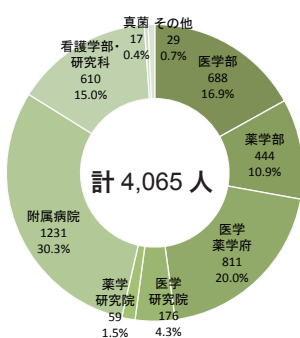
所在地 千葉市中央区亥鼻1-8-1
 設置年度 昭和24年
 敷地面積 267,532㎡
 建築面積 47,910㎡
 延床面積 203,511㎡
 棟数 80棟

学部 医学部・看護学部・薬学部
 大学院 医学研究院・医学薬学府・看護学研究所・薬学研究院

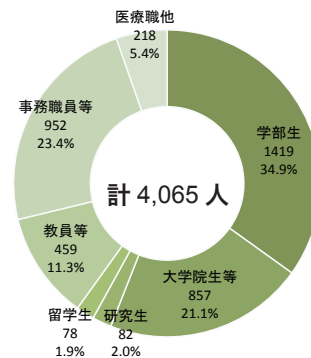
センター等 看護学研究所附属看護実践研究指導センター・真菌医学研究センター・社会精神保健教育研究センター・バイオメディカル研究センター・予防医学センター



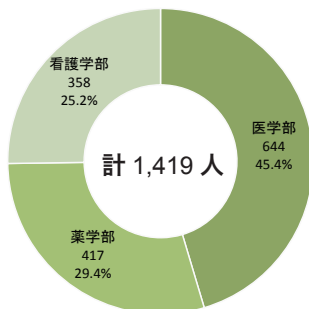
区別別面積分布



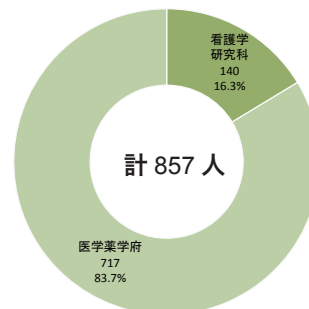
所属別構成員比 (学生・教職員) (留学生を含む)



分類別構成員比 (学生・教職員) (留学生を含む)



構成員比 (学部生) (留学生を除く)



構成員比 (大学院・研究生等) (留学生を除く)

「平成 23 年度施設実態報告」
 「千葉大学概要 2011」より

1-1 周辺地域・土地利用



キャンパス周辺マップ

■現状・課題

- ・市道（市場町・星久喜町線）の千葉市の道路拡幅事業に合わせ、敷地提供が求められている。
- ・市道（本町22号線）の歩道・自転車が未整備。
- ・キャンパス東端部の地下にトンネルがあり、建物建設が難しい。
- ・キャンパス内に大きな高低差があり、ゾーン形成を阻害している。
- ・北側住宅地への配慮としてキャンパス北側の急傾斜地の管理。
- ・丹後堰への雨水流出に関わる千葉市、周辺地域への対応。

■検討の方向

- ・市道（市場町・星久喜町線）の拡幅に向けた千葉市との協議。
- ・将来のモノレールの乗り入れの対応。



①歩道整備（本町22号線）



②敷地内高低差



③北側斜面



④道路拡張（市場町・星久喜町線）

1-2 機能別ゾーン



ゾーンマップ

■現状・課題

亥鼻キャンパスは、教育研究、産官学連携、附属病院、共同利用、住居、運動場、緑地ゾーンが混在している。

- ・教育研究ゾーンと臨床教育研究の現場である附属病院ゾーンとの距離が離れており、ゾーン間の連携が難しい。

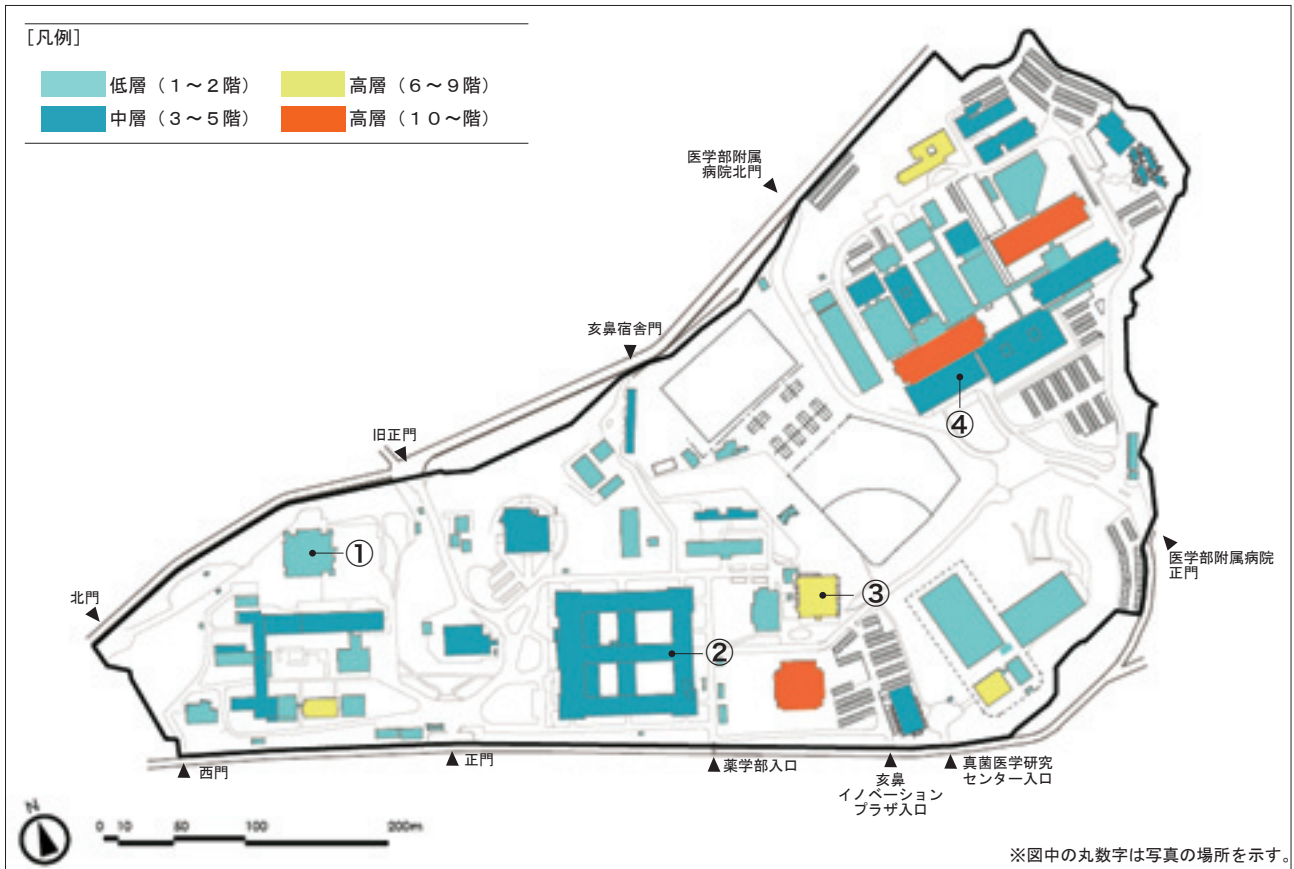
■検討の方向

- ・教育、研究の発展を支えるゾーニング計画。
- ・教育研究ゾーンと医学部附属病院ゾーンの連携。
- ・医学部正門前広場を交流ゾーンの核とし、共同利用、教育研究ゾーンが周辺を取りまくゾーニング計画とする。

(表) 機能別ゾーン一覧

教育研究ゾーン	医学部 薬学部 看護学部 看護学研究科 医学薬学府 医学研究院 薬学研究院 総合教育研究施設 動物実験施設 看護実践研究指導センター 社会精神保健教育研究センター 真園医学研究センター バイオメディカル研究センター 予防医学センター
産学連携ゾーン	亥鼻イノベーションプラザ
附属病院ゾーン	医学部附属病院
共同利用ゾーン	福祉施設
地域交流ゾーン	附属図書館亥鼻分館
住居ゾーン	職員宿舎、看護師宿舎 雄翔寮(学生寮)
運動場ゾーン	野球場・サッカーコート・テニスコート
課外活動ゾーン	体育館・弓道場、サークル会館
緑地ゾーン	七天王塚、その他

1-3 建物デザイン・高さ



建物高さ分布図

平成 23 年度施設実態報告より
平成 23 年 5 月

■現状・課題

- ・ 亥鼻キャンパスの建物の多くは 3～5 階の中層であるが、6～9 階の建物が 4 棟、10 階以上の建物が 3 棟ある。
- ・ 建物の色、デザインの調和がとれていない。
- ・ 医学部の「顔」である医学部本館が著しく老朽化している。
- ・ 附属病院再開発計画における新外来棟等のファサードデザインのコンセプト。

■検討の方向

- ・ 土地の有効活用と敷地の高低差に配慮したスカイラインを形成する建物高さの規定。
- ・ キャンパス全体の建物配置計画と合わせて、壁面線、建物高さ、スカイライン、外装色、材料等に関するガイドラインの検討。

- ・ 医学部本館改修における外装の保存・修復。



①記念講堂（低層）



②医学部本館（中層）

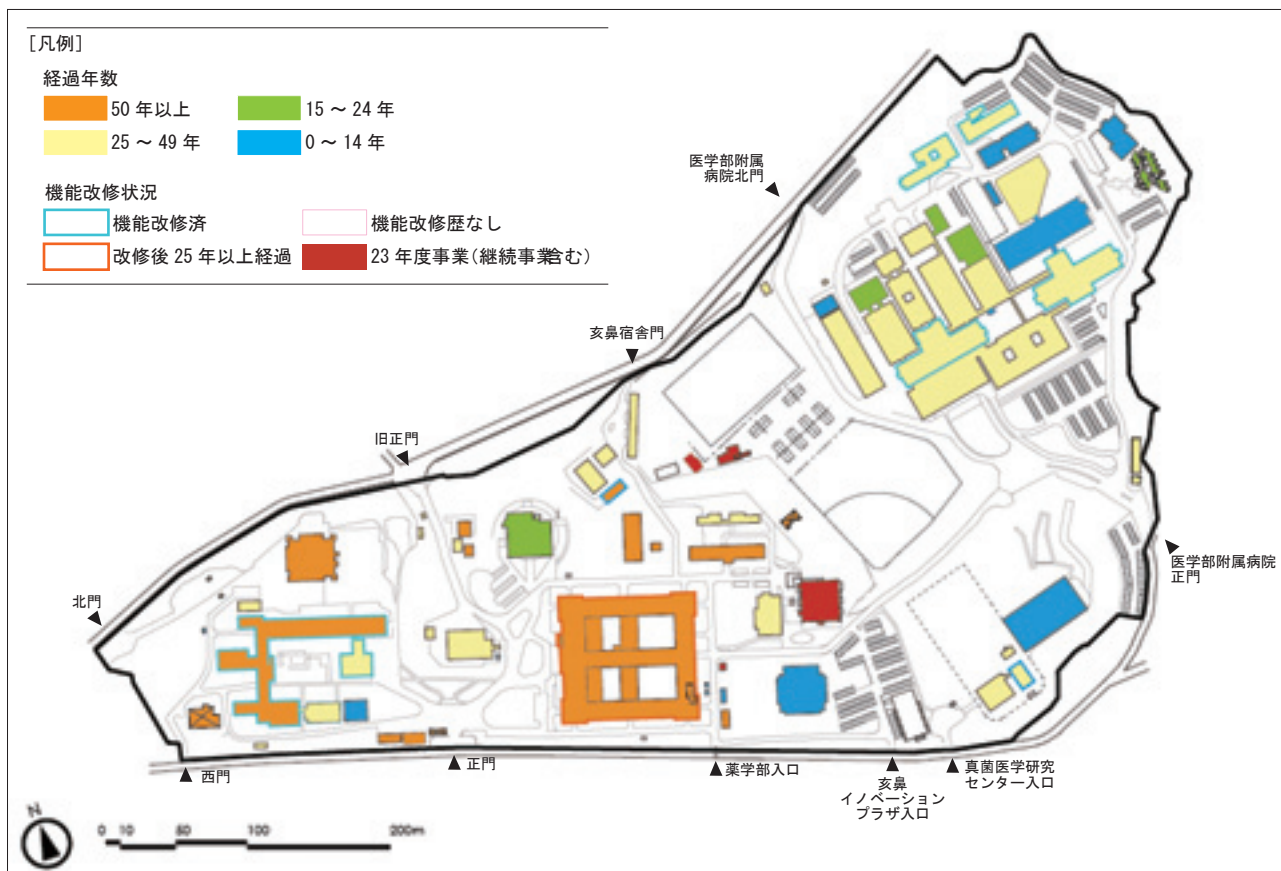


③医薬系総合研究棟Ⅱ（高層）



④医学部附属病院（高層）

1-4 建物老朽



建物計年別・機能改修状況別配置図

平成23年度施設実態報告より
平成23年5月

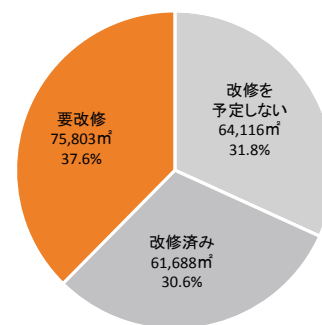
■現状・課題

亥鼻キャンパスにある建物203,511㎡のうち、1986年以前に建設され、建設後25年以上が経過した建物面積は137,090㎡で全体の68.0%である。築後または全面的な機能改修後25年以上経過し、老朽化や機能陳腐化によって改修が必要な建物面積は75,803㎡で全体の37.6%を占めている(図)。

- ・ 医学部本館、記念講堂、動物実験施設、看護学部校舎、真菌医学センターの老朽化。

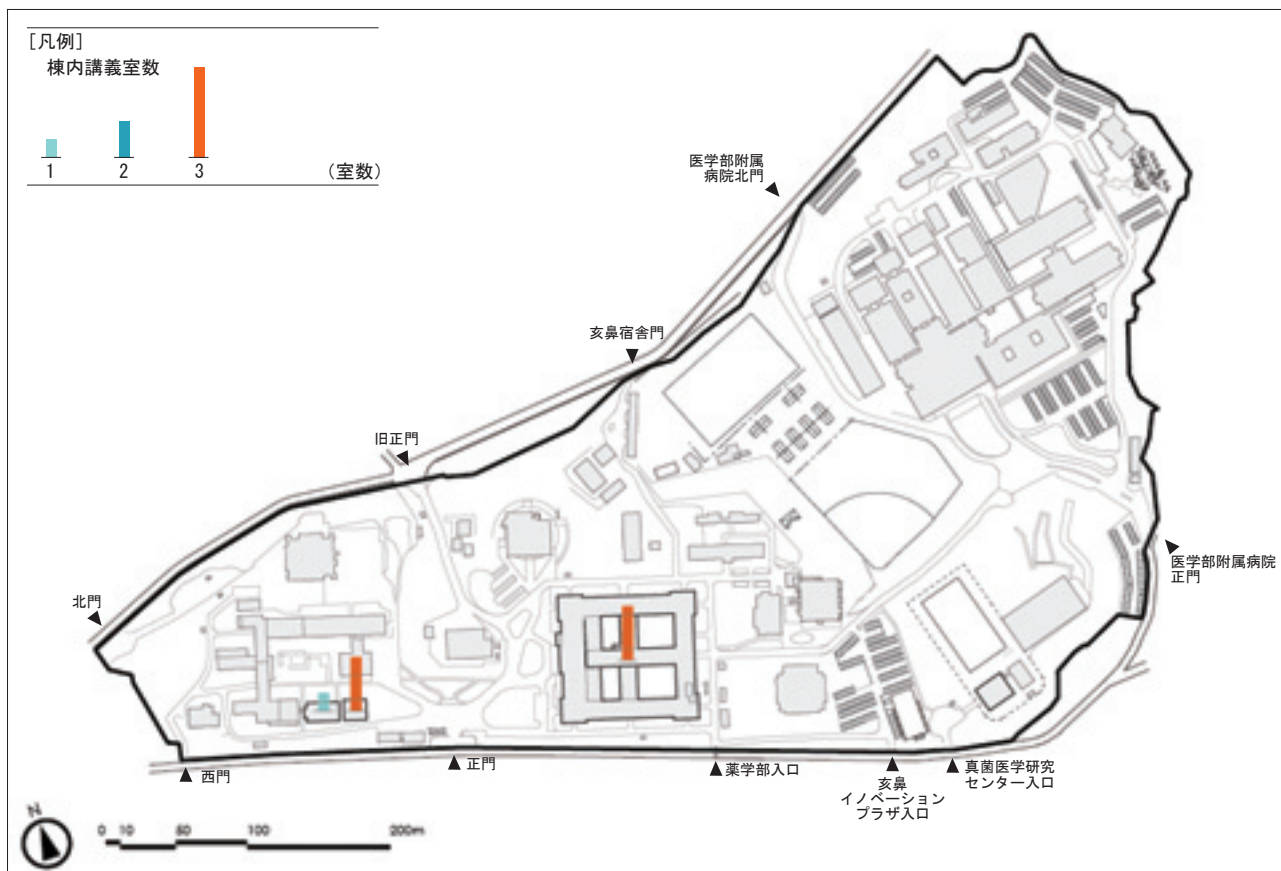
■検討の方向

- ・ 将来的な改修保全と建替えの判定を検討し、アクションプランに反映。
- ・ 医学部本館の改修の方向性。
- ・ 記念講堂、動物実験施設の今後のあり方。



(図) 建物の面積 - 機能改修率

1-5 講義室



講義室分布図

「スペースの有効活用に関する取り組み状況」より
平成 23 年 5 月

■現状・課題

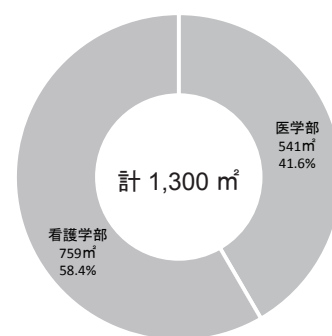
亥鼻キャンパスには、全体で 7 室の講義室がある。稼働率についてみると、60%以上の稼働率をもつ面積割合は講義室全体の 77.8%である。

- ・ 亥鼻IPE授業に対応した大講義室と少人数対応の小ゼミ室が不足している。
- ・ 医薬看共通講義コマ数の増加により大講義室（300～400人規模）が不足している。

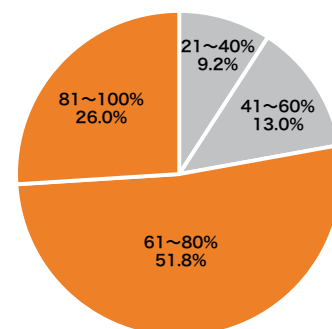
※IPE(Interprofessional Education) 専門職連携教育の意。

■検討の方向

- ・ 講義室等の部局、学科を横断した有効な共同利用の推進。
- ・ 3学部が共同で使用できる大教室（300-400人規模）の確保。
- ・ 記念講堂の活用。
- ・ 少人数ゼミ室の設置。
- ・ 建物配置計画とゾーニングに反映。

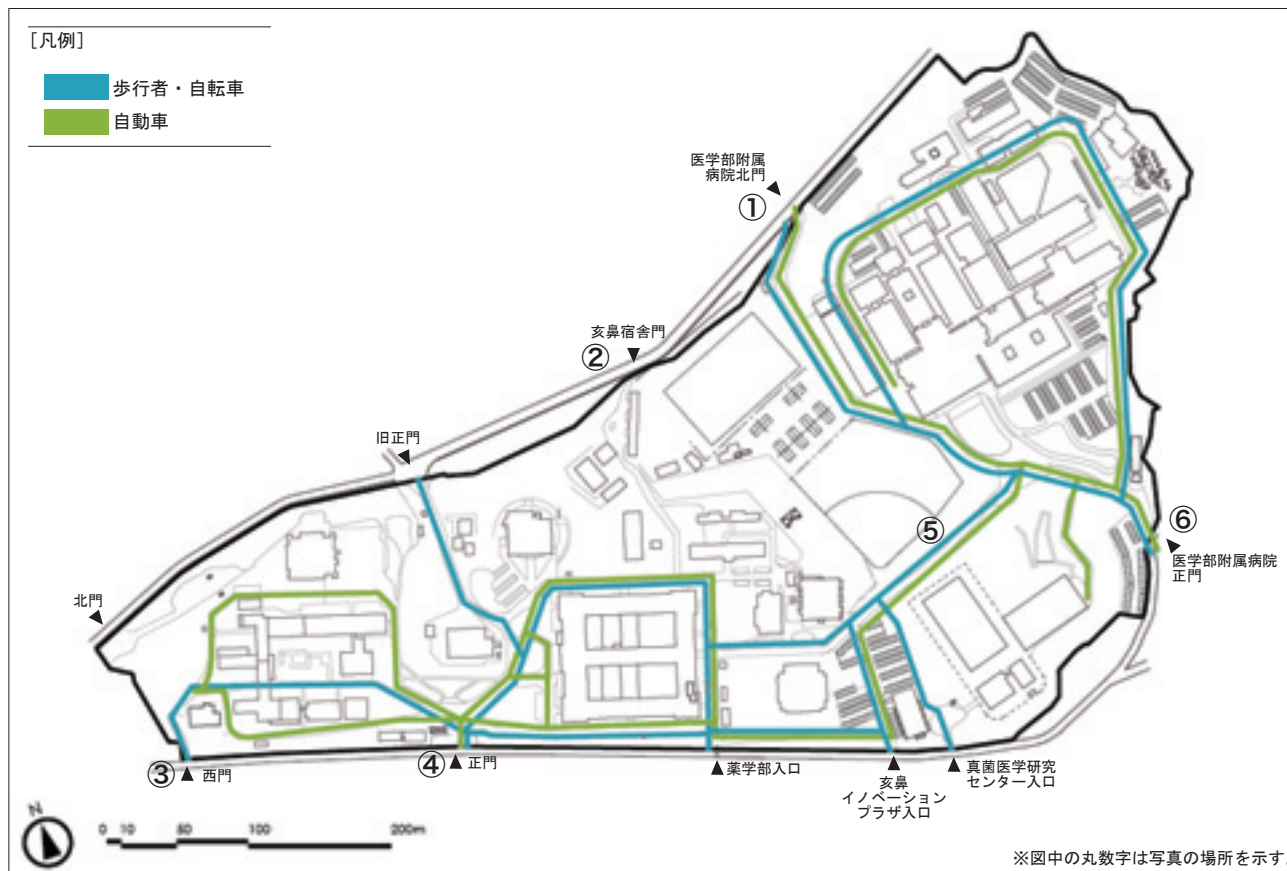


(図 1) 部局別講義室の面積分布



(図 2) 講義室稼働率毎の面積分布

2-1 交通動線



交通動線図

キャンパス整備企画室調査より
平成 23 年

■現状・課題

亥鼻キャンパスには、キャンパス北側に4カ所、南側に6カ所、東側に2カ所の門がある。

- ・キャンパス内道路の歩車分離が図られていない。
- ・病院ゾーンと研究教育ゾーンをつなぐ連絡通路が1ルートのみで、管理動線と学生、来客動線が混合している。
- ・附属病院立体駐車場が計画中。
- ・多数の路上駐車がある。

■検討の方向

- ・歩車分離、交通ルートの見直し。
- ・自動車乗り入れ禁止ゾーン。
- ・駐車場規模と利用者数。
- ・病院ゾーンと研究教育ゾーンをつなぐ複数ルート。
- ・キャンパスの外周道路。
- ・門の位置づけと役割に見合った環境整備。



①医学部附属病院北門



②亥鼻宿舎入口



③西門



④正門

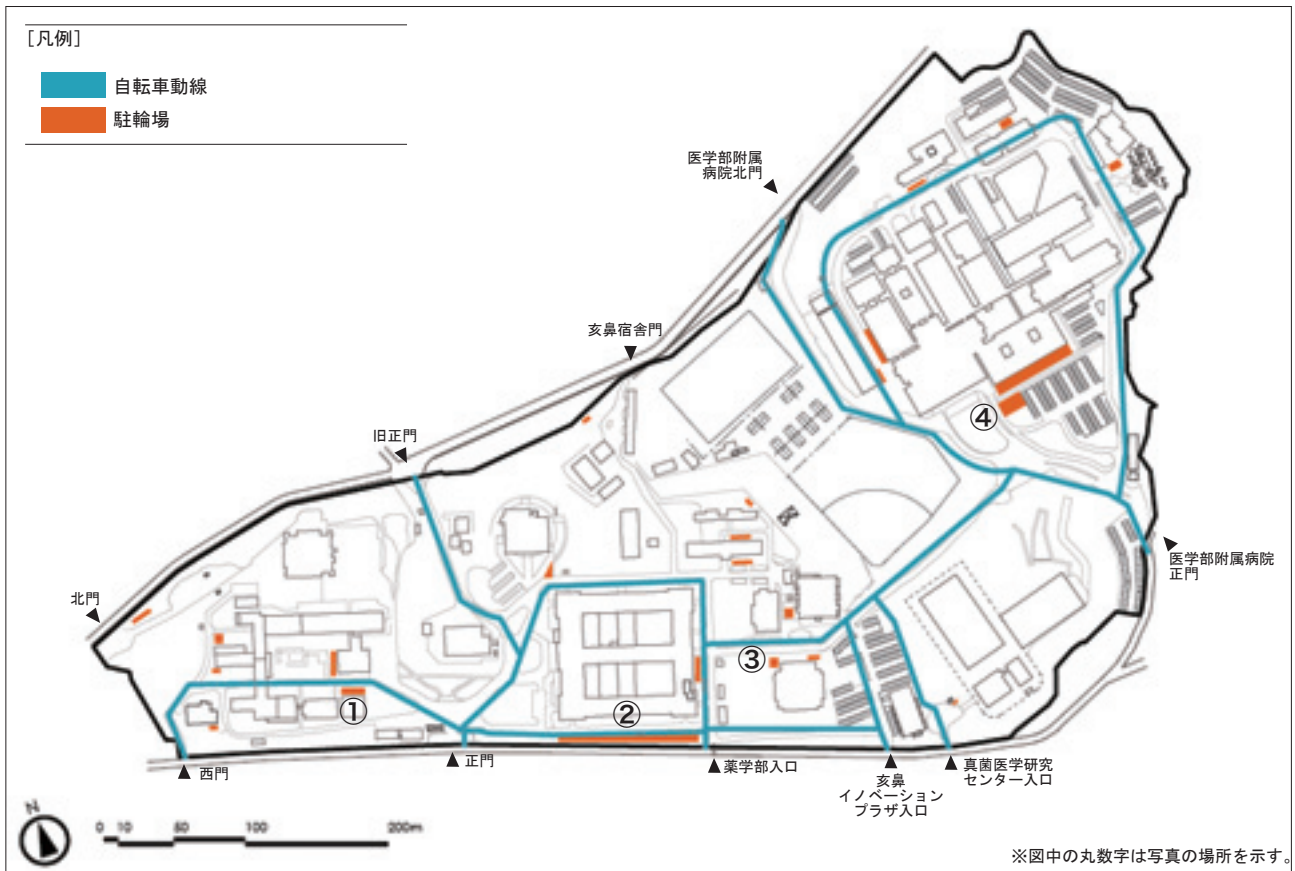


⑤土手の歩道整備



⑥附属病院正門

2-2 駐輪場



※図中の丸数字は写真の場所を示す。

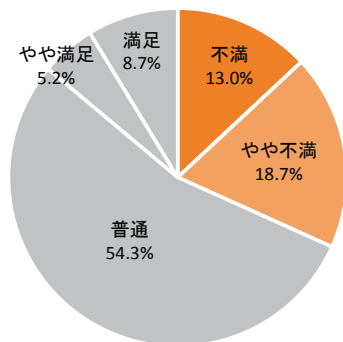
駐輪場分布図

キャンパス整備企画室調査より
平成 23 年 5 月

■現状・課題

亥鼻キャンパスにおいて、駐輪場はキャンパス全体に分散配置されている。アメニティアンケートでは3割程度が自転車の数に不満を感じている(図)。

・ 病院地区駐輪場の配置について、患者歩行動線と錯綜し、歩行者の安全性が損なわれている。



(図) 自転車の数について

■検討の方向

・ ゾーニング計画に合わせた駐輪場設置。



①看護学部周辺



②医学部本館周辺

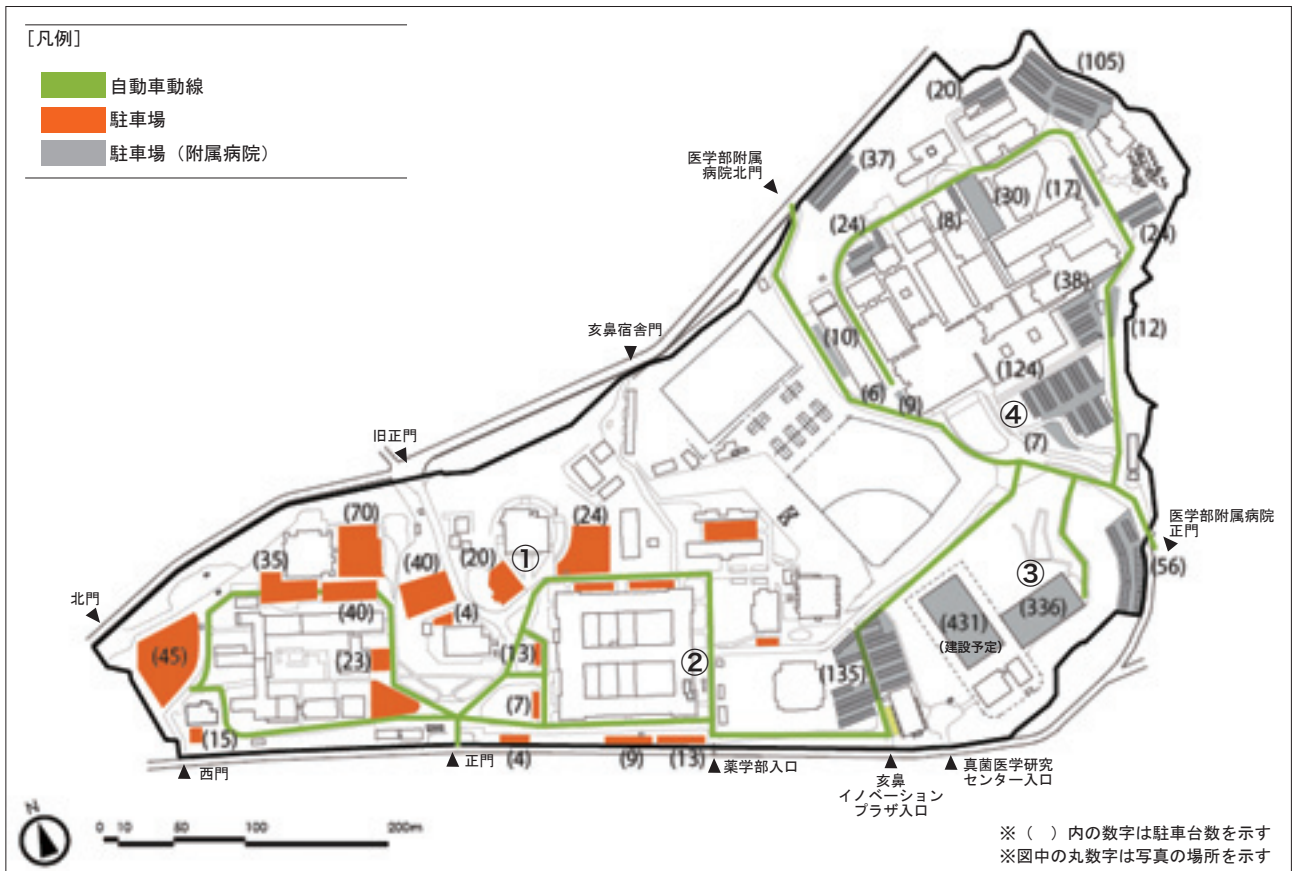


③医薬系総合研究棟 I 前



④附属病院前

2-3 駐車場



駐車場分布図

キャンパス整備企画室調査より
平成 23 年 5 月

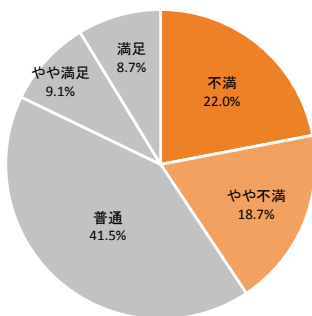
■現状・課題

亥鼻キャンパスには、38 箇所に 1,859 台（含附属病院用 1,429 台）の駐車場があり、キャンパス全体に分散配置されている。アンケートでは約 4 割が駐車場の場所に不満を感じている。（図）

- ・ 建物外周に多く路上駐車されており、景観形成を阻害している。
- ・ 路上駐車が多く、緊急車両の通行に支障をきたす恐れがある。

■検討の方向

- ・ 車両乗入れ禁止ゾーン。
- ・ 駐車場の規模と利用者数の適正化。



（図）駐車場の場所について



①図書館前駐車場



②医学部本館周辺の路上駐車

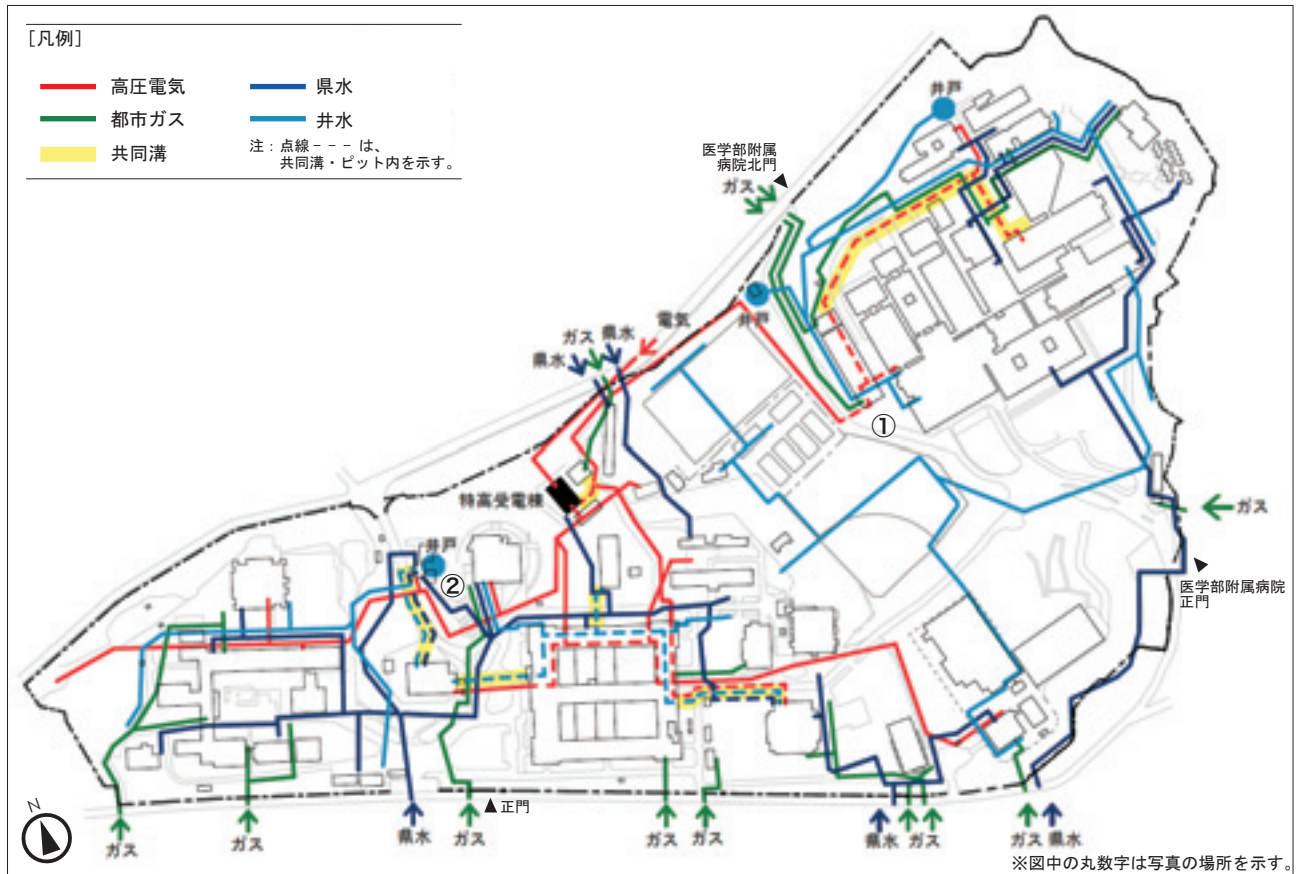


③立体駐車場



④附属病院前駐車場

2-4 基幹設備



基幹設備図

施設環境部データより
平成 23 年 11 月

■現状・課題

亥鼻キャンパスの共同溝の設置は一部に留まっており、その他の電気、ガス、上下水道のインフラ設備は大地震の発生時には被害を受ける可能性がある。



①医学部附属病院エネルギーセンター



②給水所

(表) 基幹設備の現状と検討の方向

	現状	検討の方向
共同溝	<ul style="list-style-type: none"> ・病院地区は全て共同溝内。 ・教育研究部門は看護学部が埋設管。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院地区は再開発に基づき増設変更。 ・教育研究部門は現状共同溝を利用することを基本とし、再開発計画に応じて増設、変更を行う物とする。
泉水	<ul style="list-style-type: none"> ・メインルートは全て共同溝内であるが、看護学部系統は埋設配管。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発計画に応じて計画。
井水	<ul style="list-style-type: none"> ・メインルートは全て共同溝内。 ・看護学部系統は埋設配管。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発計画に応じて計画。
ガス	埋設配管。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状通りとする。
電力	<ul style="list-style-type: none"> ・病院地区は全て共同溝内。 ・教育研究部門は看護学部が埋設配管。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発計画に応じて計画。

■検討の方向

- ・維持管理コストの低減を図る共同溝の段階的整備手法。
- ・修繕や設置期間と場所など管理の記録のデータ化。
- ・災害に強い基幹設備。

2-5 エネルギー消費量・CO₂排出量

■現状・課題

亥鼻キャンパスは、2010年度、研究教育ゾーンで年間142,959GJ（図1）、附属病院で368,549GJのエネルギーを消費している（図5）。また、CO₂削減の中長期の目標を設定している。

エネルギー使用量の見える化を推進している。

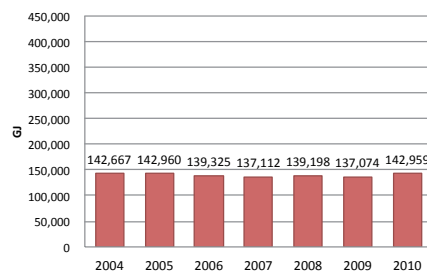
■検討の方向

- ・ 太陽光発電設備設置など自然エネルギー活用の具体的方策。
- ・ CASBEE導入。

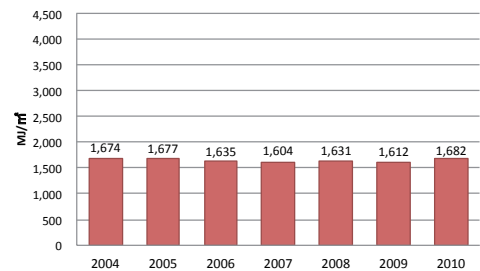
※CASBEE(Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency) 建築環境総合性能評価システムの意。

亥鼻キャンパス

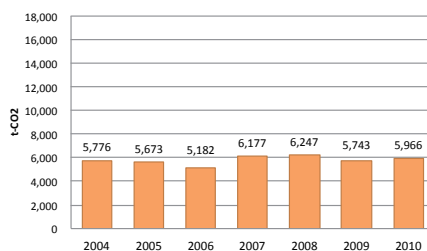
(医学部附属病院を除く)



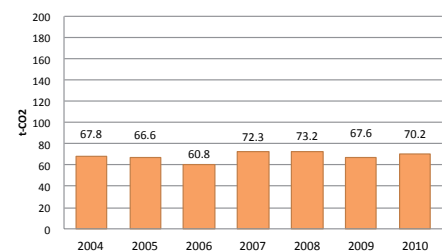
(図1) エネルギー消費量 (GJ)



(図2) エネルギー消費量原単位 (MJ/㎡)

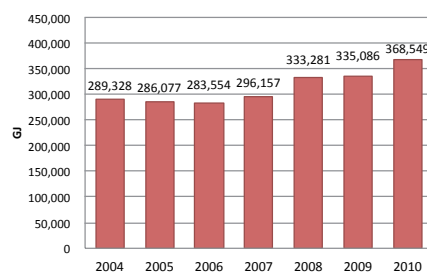


(図3) CO₂ 排出量 (t-CO₂)

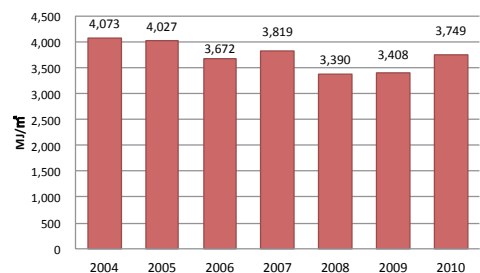


(図4) CO₂ 排出量原単位 (t-CO₂/㎡)

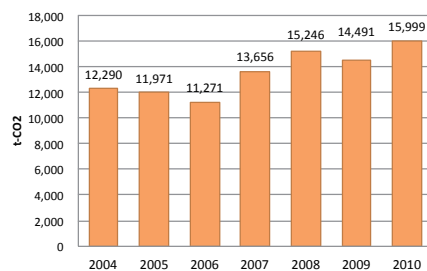
医学部附属病院



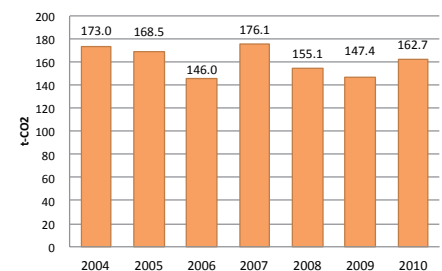
(図5) エネルギー消費量 (GJ)



(図6) エネルギー消費量原単位 (MJ/㎡)

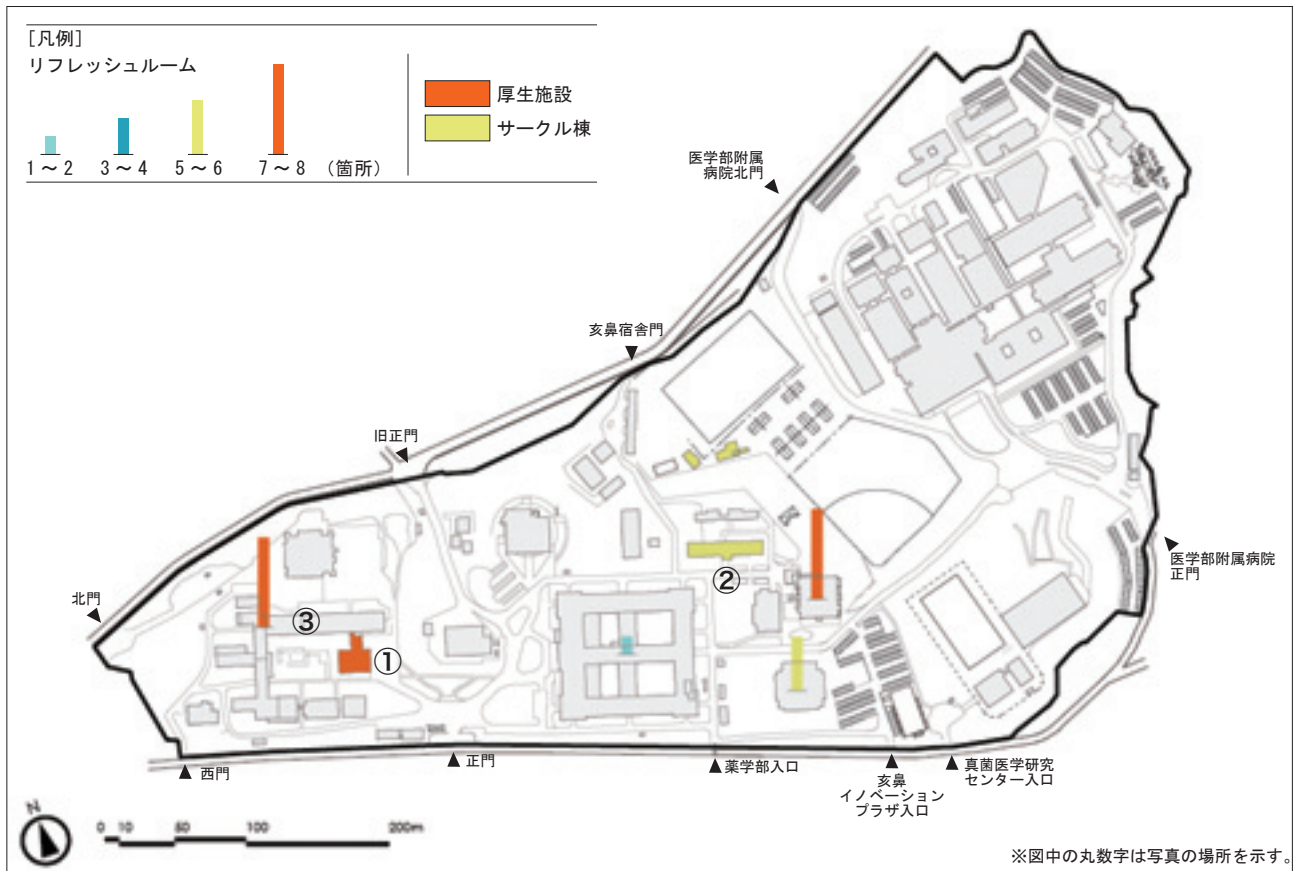


(図7) CO₂ 排出量 (t-CO₂)



(図8) CO₂ 排出量原単位 (t-CO₂/㎡)

3-1 学生スペース・交流スペース



学生・交流スペース分布図

※図中の丸数字は写真の場所を示す。

キャンパス整備企画室調査より
平成 23 年 6 月

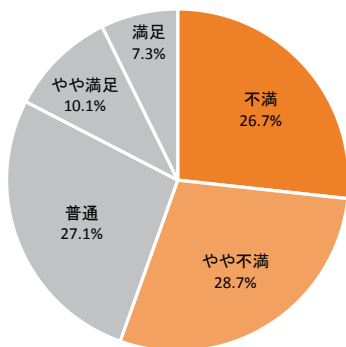
■現状・課題

リフレッシュルームが 24 箇所、477 m²あり、各建物に分散配置されている。厚生施設は看護学部集中している。アンケートでは約 6 割が屋内休憩スペースに不満を感じている（図）。

- ・ IPE小グループ学習、チュートリアル教育の準備のための自主学習や国家試験のためのグループ学習に必要な学生の自習室等が不足。
- ・ 学生（1～3年）の控え室・談話室が少ない。

■検討の方向

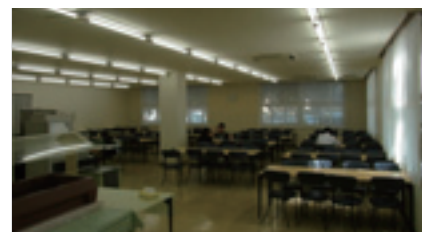
- ・ 教育・研究施設だけではない学びの場としての学生・教職員交流スペースや、自発的学習スペースの提供。
- ・ 薬学部移転に伴う厚生施設の分散配置、医学部本館内のリフレッシュスペース設置。
- ・ 学外者、研究者交流スペース設置。



（図）屋内休憩スペースの満足度



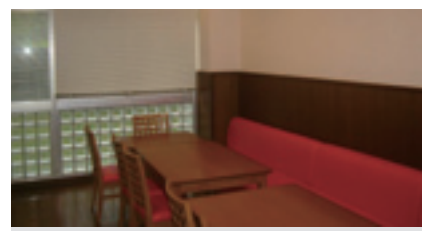
①厚生施設



①厚生施設（食堂）



②サークル会館



③リフレッシュコーナー

3-2 広場・オープンスペース



広場・オープンスペース分布図

キャンパス整備企画室調査より
平成 23 年 5 月

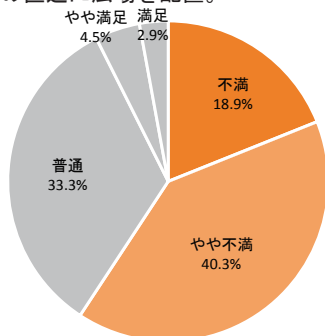
■現状・課題

ベンチのある広場が 2 箇所ある。アンケートでは約 6 割が屋外休憩スペースに不満を感じている。

- ・ 学生や教職員、学外者の交流スペースが不足している。

■検討の方向

- ・ ポケットパークのバランスの良い配置。
- ・ 交流ゾーンであるアプローチ（門）の直近に広場を配置。



(図) 屋外休憩スペースの満足度



①看護学部周辺



②看護学部周辺



③医学部正門周辺



④立体駐車場周辺

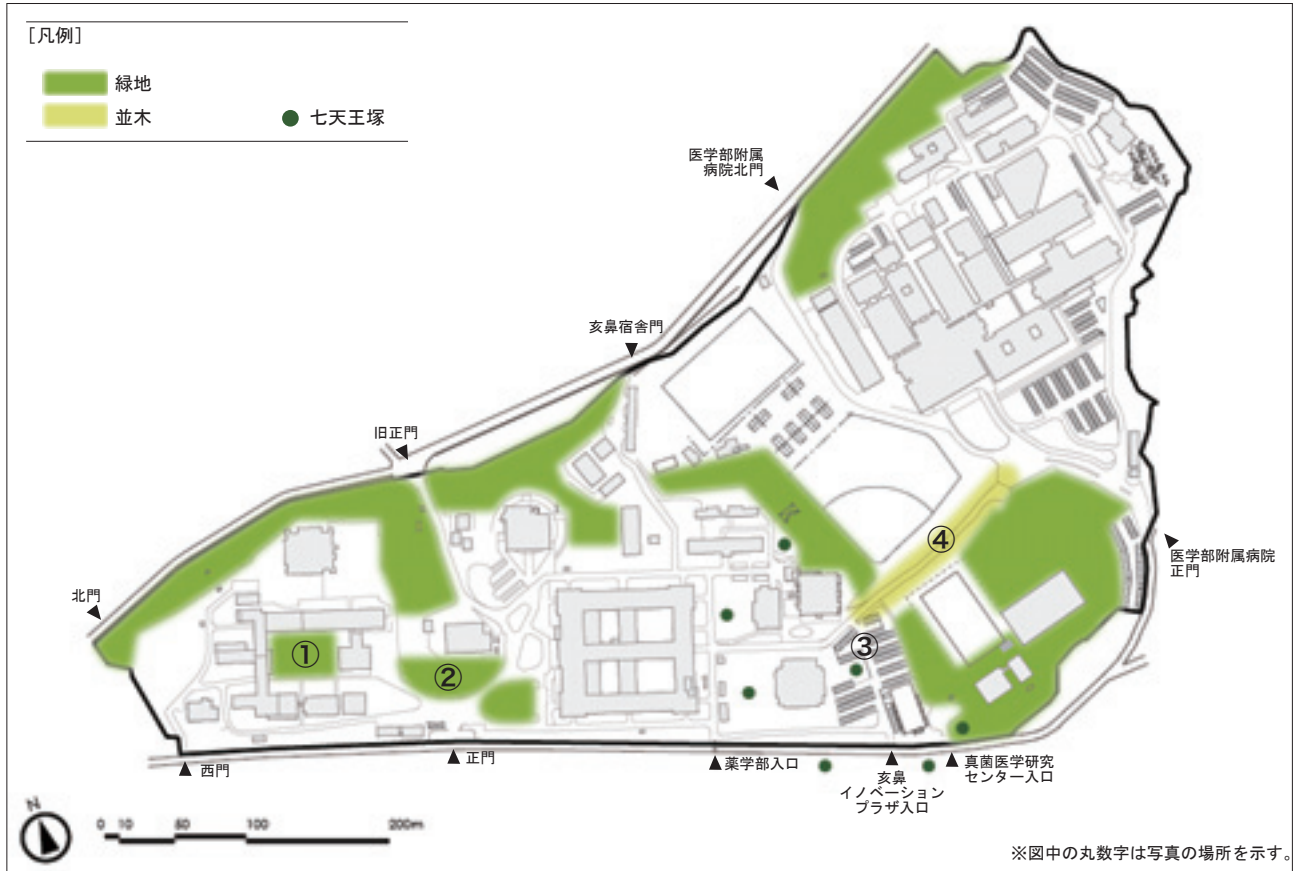


⑤医薬系総合研究棟Ⅱ前



⑥医学部附属病院内（カフェ）

3-3 樹木・緑地



※図中の丸数字は写真の場所を示す。

緑地分布図

キャンパス整備企画室調査より
平成 23 年 5 月

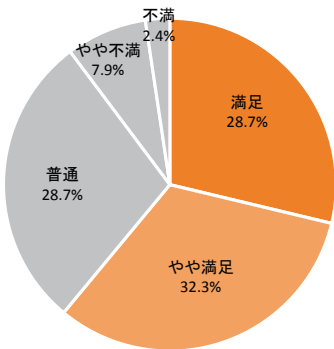
■現状・課題

亥鼻キャンパスの樹木、緑地は豊かで、看護学部中庭、七天王塚、附属病院と教育研究ゾーンをつなぐ桜並木の土手、凡秋谷などランドスケープ資源がある。アメニティアンケートでも樹木の量に対する満足度が高い(図)。

- ・ 現在緑地になっている箇所が十分に管理されていない。
- ・ 十分な管理計画がとられていない。
- ・ 記念植樹など場当たりに植樹されている。

■検討の方向

- ・ 緑化環境（屋外環境・ランドスケープ整備）計画。
- ・ 維持管理計画（指針）。



(図) 樹木の量について



①看護学部中庭



②正門・動物実験施設周辺

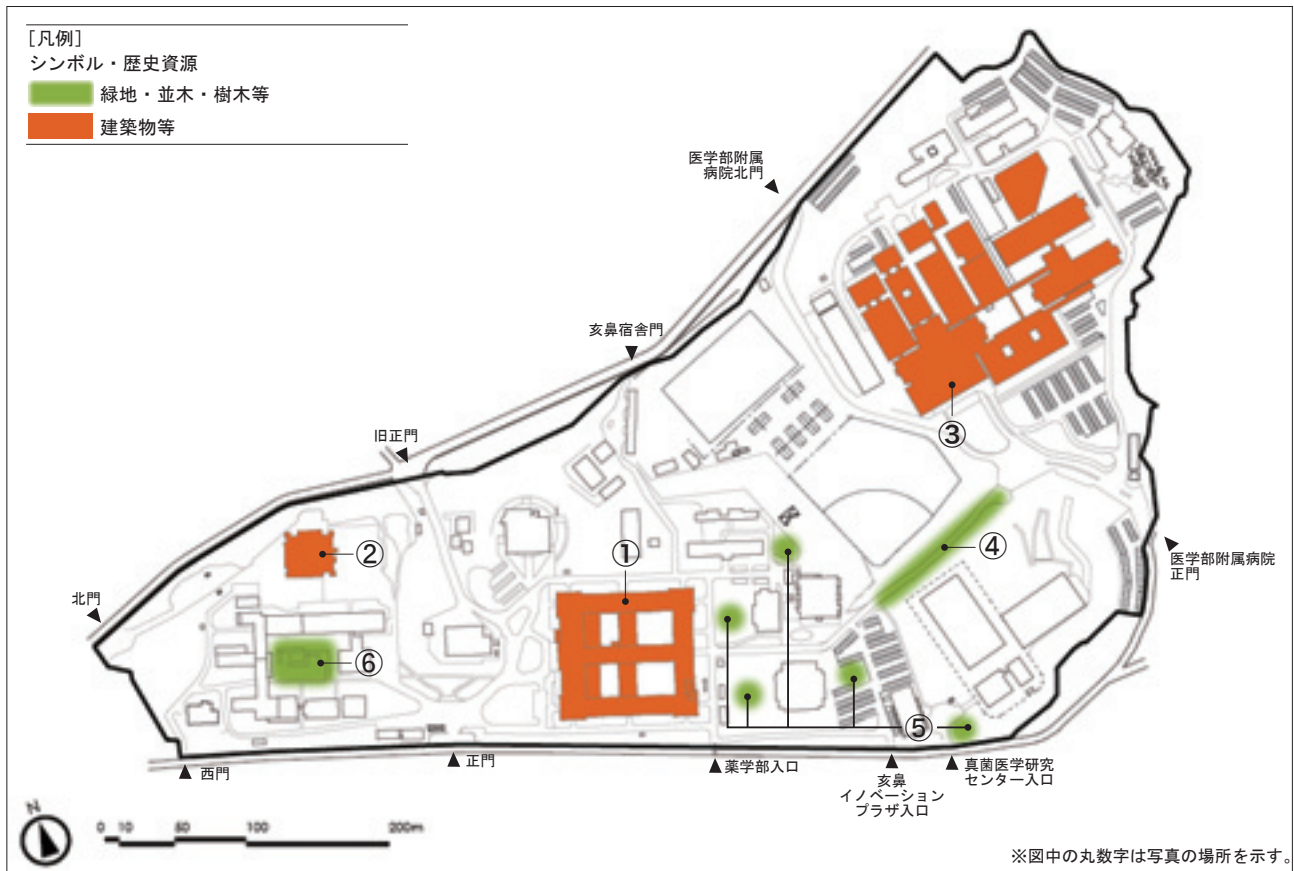


③七天王塚



④土手の並木

3-4 シンボル・歴史資源



シンボル・歴史資源分布図

千葉大学ホームページ他より
平成 23 年 5 月

■現状・課題

亥鼻キャンパスには、医学部本館、記念講堂、記念碑、記念像などの歴史資源がある。



①医学部本館



②医学部記念講堂



③医学部附属病院



④桜並木



⑤七天王塚



⑥看護学部中庭

■検討の方向

・ 医学部本館などの歴史資源を活かした整備。

3-5 サイン・情報掲示



※図中の丸数字は写真の場所を示す。

サインマップ

キャンパス整備企画室調査より
平成 23 年 5 月

■現状・課題

- ・ 亥鼻キャンパスのサイン（表示、誘導、案内）は、デザインがばらばらで統一感がない。
- ・ アメニティアンケートでは約6割が誘導サインが分かりにくいと回答している。



①医学部正門前



②附属病院内駐車場



③附属病院内周辺



④附属病院内周辺



⑤医学部本館周辺

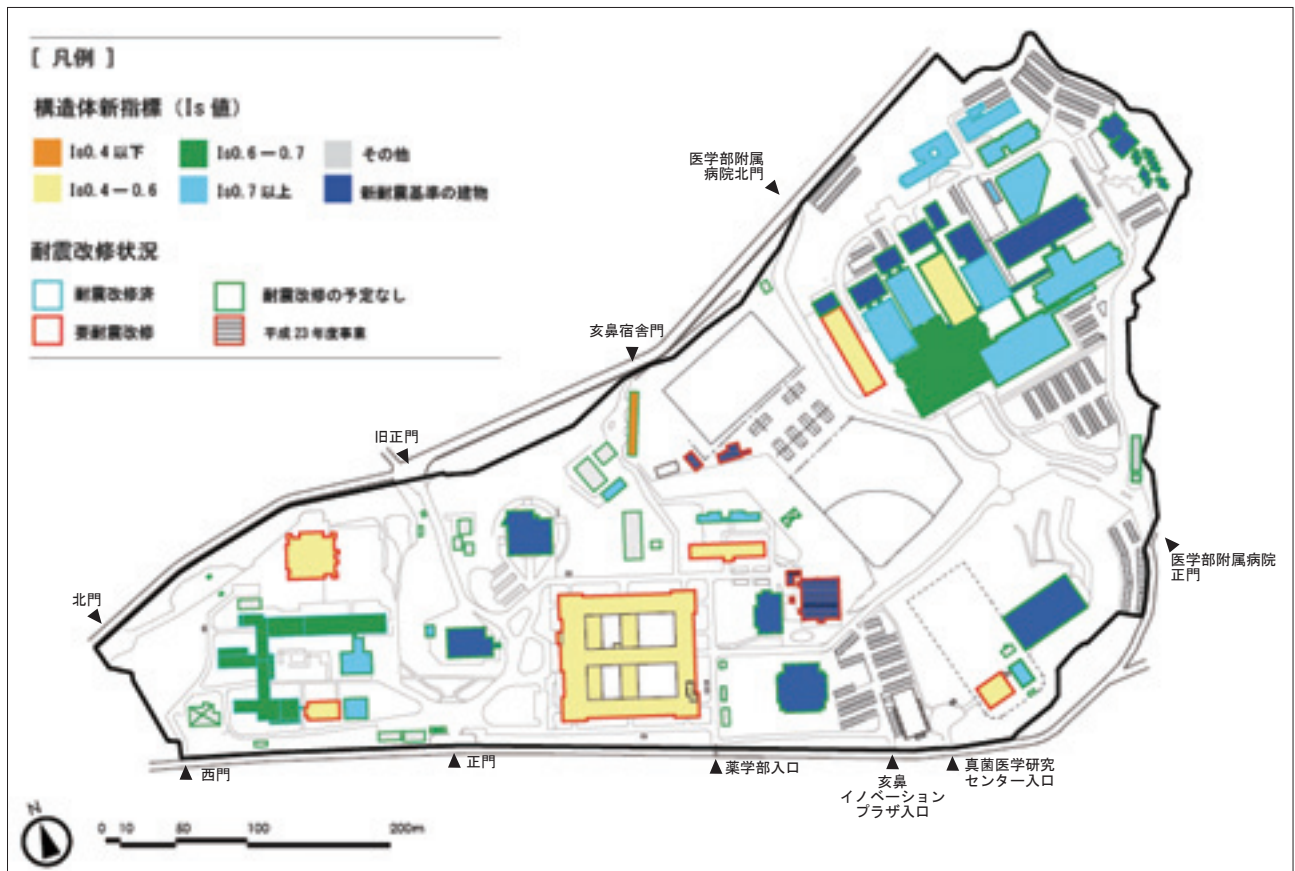


⑥医学系総合研究棟Ⅱ

■検討の方向

- ・ サインの整備計画。
- ・ 国際化に対応する表記方法。
- ・ 情報発信のための掲示手法（看板等）のあり方。
- ・ インフォメーションセンター設置。
- ・ 病院内のサイン計画。
- ・ 動線計画見直しの交通サインへの反映。

4-1 耐震改修



構造耐震指標 (Is 値) 別・耐震改修状況別配置図

平成 23 年度施設実態報告より
平成 23 年 5 月

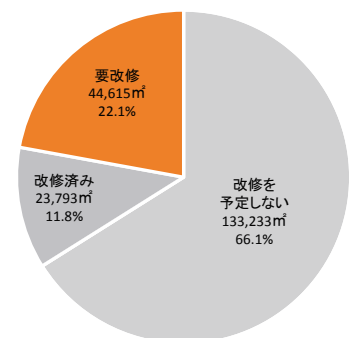
■現状・課題

1981 年以前の旧耐震基準による建物のうち、耐震化対象建物は 68,408 m² で保有面積全体の 33.9% である。

このうち、23,793 m² (11.8%) は耐震改修が済んでおり、構造耐震指標である Is 値が著しく劣る 0.4 以下の建物はない。現在、Is 値が 0.4 を超え 0.7 未満で耐震改修が必要な建物面積は 44,615 m² (22.1%) である。

■検討の方向

- ・ 耐震改修が必要な建物の整備手法。

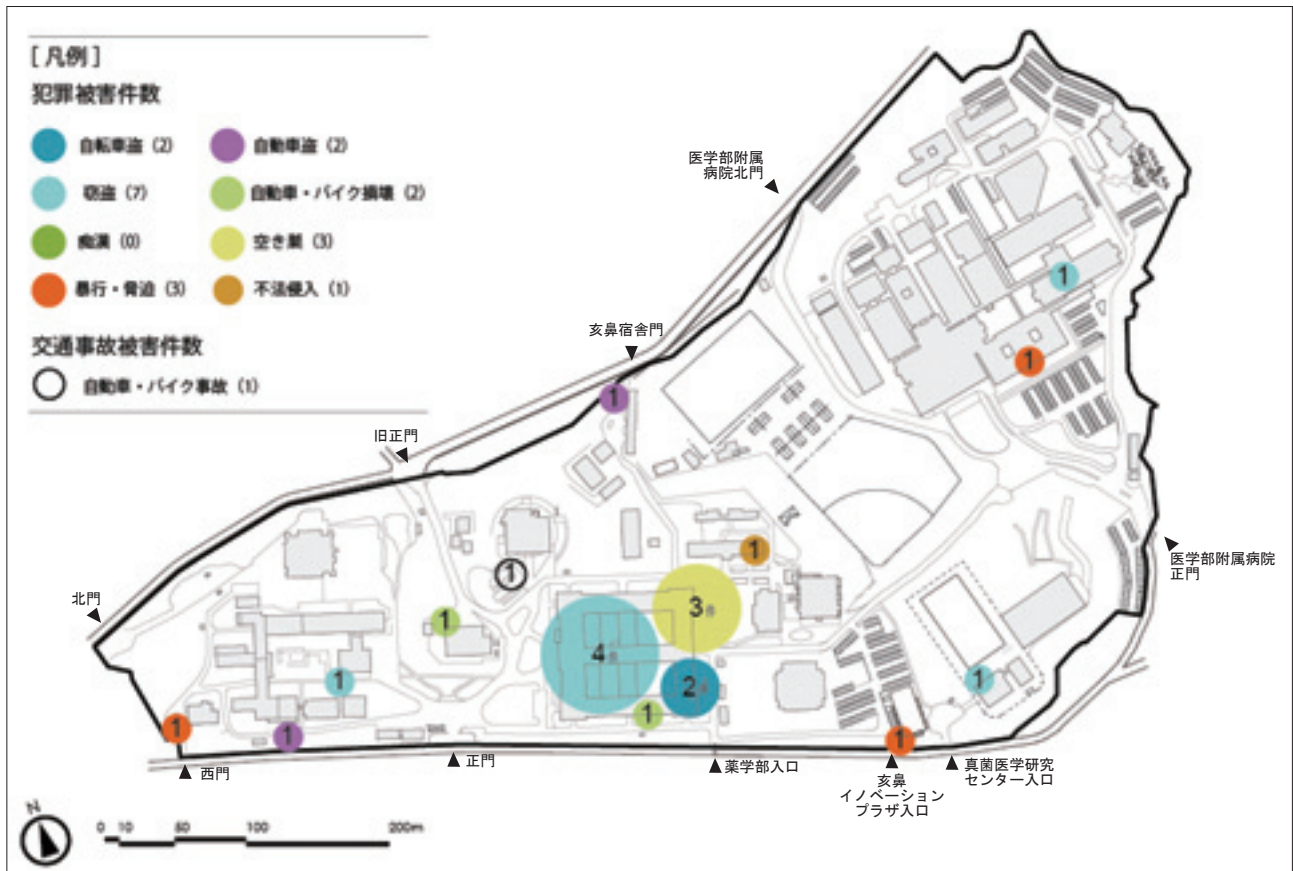


(図) 建物の耐震改修面積比率

色区分	構造耐震指標 (Is 値)	①		②		③		④		⑤	
		保有面積	割合	耐震化対象面積	割合	耐震改修済面積	割合	要耐震改修面積	割合	耐震改修済平均 Is 値	割合
—	旧耐震基準の建物 (2019年以前に完成)	128,494m ²	63.7%	68,408m ²	100.0%	23,793m ²	100.0%	44,615m ²	100.0%	60,066m ²	45.1%
■	Is値0.4以下の建物	0m ²	0.0%	0m ²	0.0%	0m ²	0.0%	0m ²	0.0%	0m ²	0.0%
■	Is値0.4を超え0.6未満の建物	48,664m ²	24.1%	44,615m ²	65.2%	0m ²	0.0%	44,615m ²	100.0%	4,049m ²	3.0%
■	Is値0.6以上0.7未満の建物	42,923m ²	21.3%	12,264m ²	18.5%	12,264m ²	56.2%	0m ²	0.0%	29,569m ²	22.2%
■	Is値0.7以上の建物	33,201m ²	16.5%	10,429m ²	15.2%	10,429m ²	43.8%	0m ²	0.0%	22,772m ²	17.1%
■	その他の建物 (2019年以前に完成)	3,696m ²	1.8%	0m ²	0.0%	0m ²	0.0%	0m ²	0.0%	3,696m ²	2.8%
■	新耐震基準の建物 (2019年以降に完成)	73,147m ²	36.3%	0m ²	0.0%	0m ²	0.0%	0m ²	0.0%	73,147m ²	54.9%
計		201,641m ²	100.0%	68,408m ²	100.0%	23,793m ²	100.0%	44,615m ²	100.0%	133,233m ²	100.0%
(保有面積に対する各面積の比率)		—	—	2.2/2.1	33.9%	2.3/2.1	11.8%	2.2/2.1	22.1%	2.5/2.1	66.1%

(表) 構造耐震指標 (Is 値) 別保有面積および耐震改修面積

4-2 犯罪・事故



セキュリティマップ

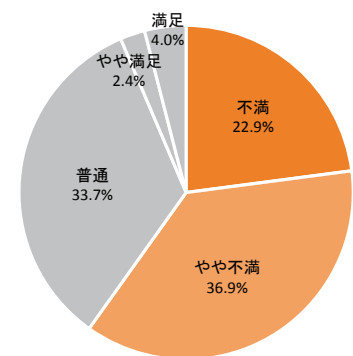
犯罪・事故等の実態把握アンケートより
平成 23 年 2 月

■現状・課題

亥鼻キャンパスでは、20 件の犯罪、1 件の交通事故がある。犯罪のうち多いのは窃盗で 7 件である。犯罪発生箇所は医学部本館廻りに多い。

■検討の方向

- ・ 建物セキュリティ確保のための標準仕様。



(図) 防犯上危ない場所の対策について

4-3 外灯



照度分布図

外灯改修計画より
平成 22 年 11 月

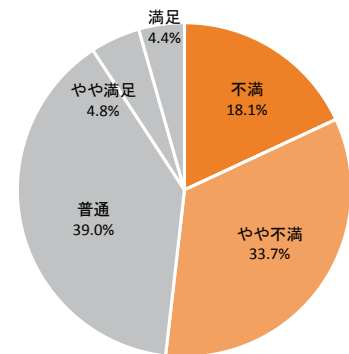
■現状・課題

亥鼻キャンパスの主要な道路の外灯、照度は比較的十分であるが、一部に暗がりが生じている部分がある。外部空間の照度を調査し、外部照明計画によって安全性の確保を推進している。アメニティアンケートでは、半数以上が明るさについて不満があると回答（図）。

- ・ 看護学部周りの照明が暗い。

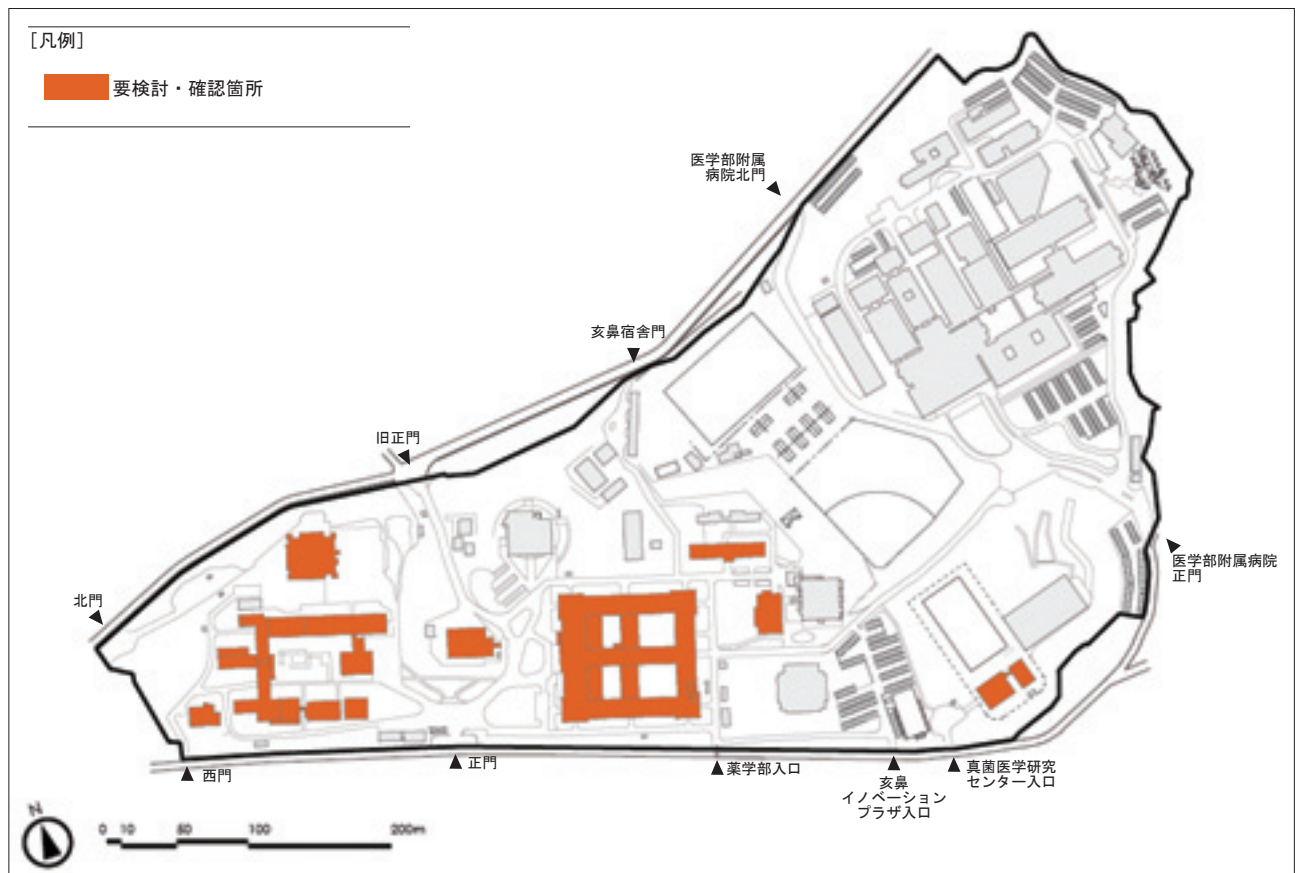
■検討の方向

- ・ 外灯の増設を進める。



(図) 外灯の明るさについて

4-4 バリアフリー



バリアフリーマップ

キャンパス整備企画室調査より
平成 22 年 5 月

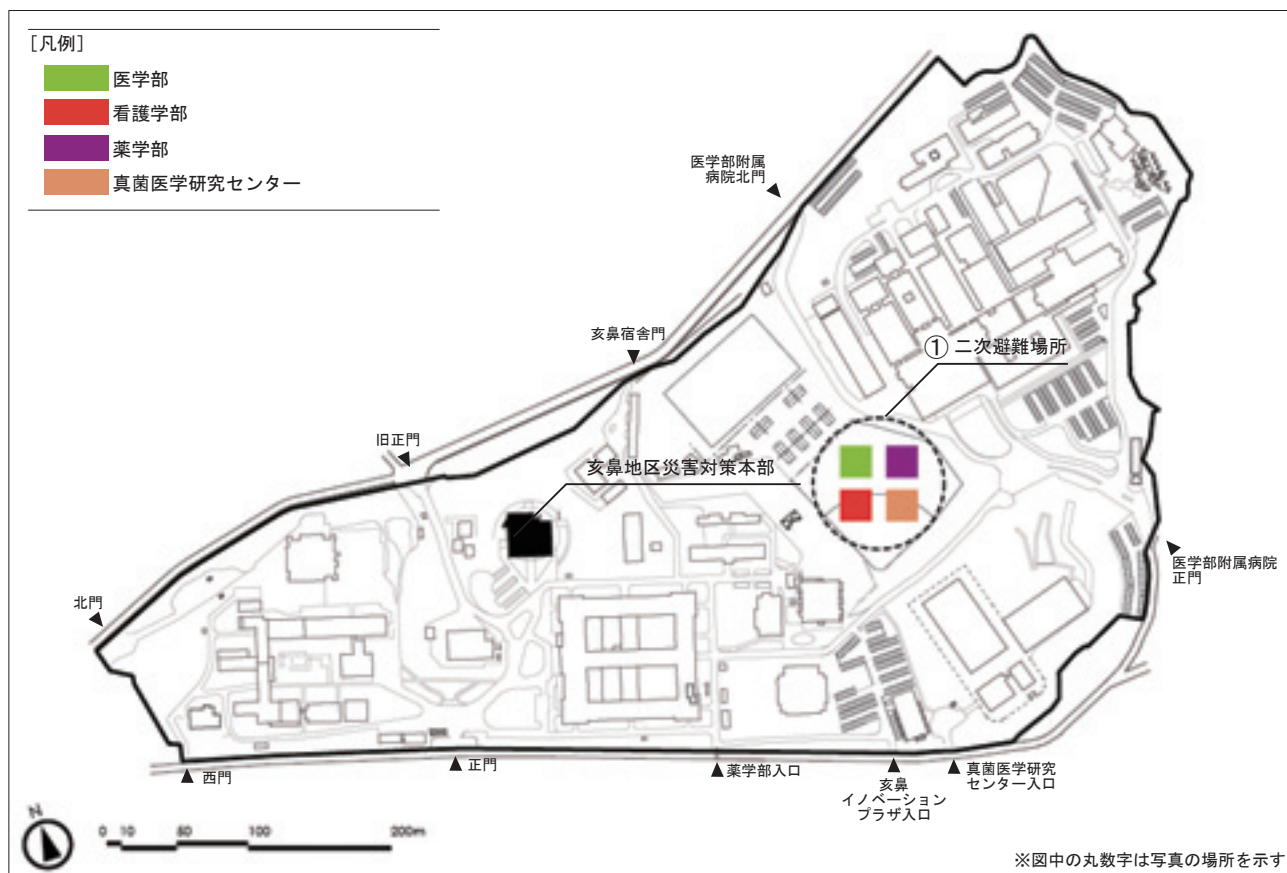
■現状・課題

- 亥鼻キャンパスでは、身障者エレベーター、身障者トイレ、スロープの整備を推進中である。
- ・バリアフリー整備を推進中であるが、十分ではない。

■検討の方向

- ・バリアを解消する整備手法の検討。
- ・ユニバーサルデザインの検討。

4-5 避難場所



避難場所マップ

「千葉大学防災のしおり」より
平成 23 年 5 月

■現状・課題

亥鼻キャンパスは、千葉市による避難場所の指定はない。「千葉大学震災対策要項」において、二次避難場所として野球場が指定されてる。

- ・ 二次避難場所に至る道は狭く急傾斜があるため、円滑な避難が難しい。
- ・ 二次避難場所の標高の低い箇所は津波が到達する可能性があり、今後検討が必要である。

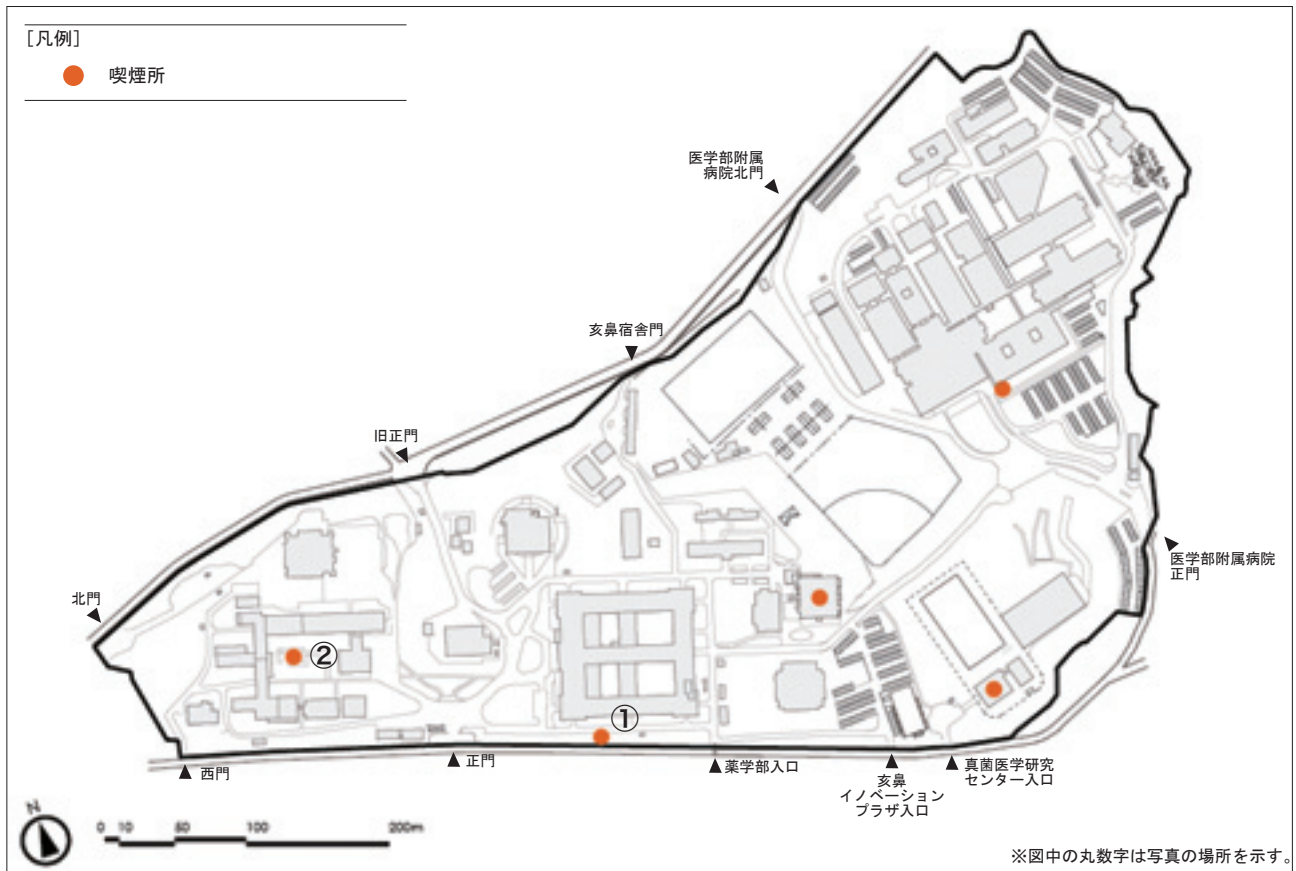
■検討の方向

- ・ 災害時の拠点（構成員用備蓄等を含む）。



① 二次避難場所

4-6 喫煙場所



喫煙場所分布図

喫煙所マップより
平成 23 年 11 月

■現状・課題

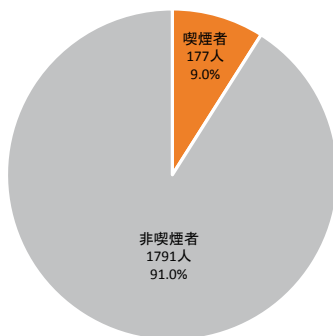
亥鼻キャンパスは、2011年に指定喫煙所以外を敷地内禁煙とし、喫煙所は5箇所とした。

安全衛生管理機構のアンケートによると亥鼻キャンパス構成員の喫煙率は9%である。(図)

・ 受動喫煙対策が十分でない。

■検討の方向

・ 全面禁煙を含めたキャンパス敷地内の喫煙のあり方。



(図) 喫煙率 (学生・教職員等)

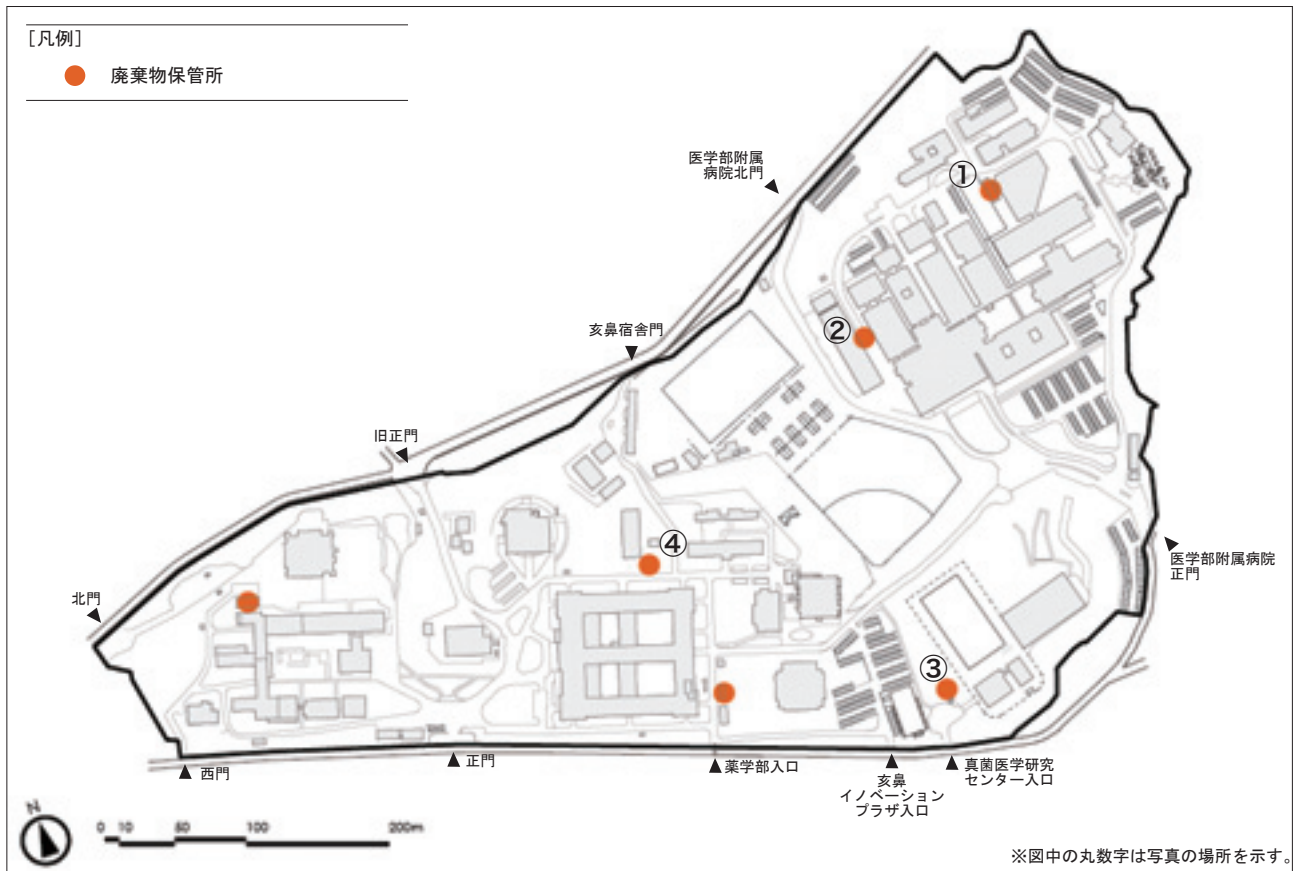


①医学部本館前



②看護学部中庭

4-7 廃棄物



廃棄物保管所マップ

■現状・課題

亥鼻キャンパスには、一般廃棄物、産業廃棄物のほか、医療系廃棄物の保管場所がある。



①医学部附属病院



②エネルギーセンター前



③真菌医学研究センター前



④医学部本館北側

■検討の方向

- ・ 分別の徹底。

4-8 都市型豪雨



施設環境部データより
平成 23 年 11 月

■現状・課題

亥鼻キャンパスは、敷地に高低差があり、周辺地域へ流れ出しのおそれがある。

- ・ 豪雨時における市用水路（丹後堰）への雨水流出。
- ・ 地震や集中豪雨時に崩落・崩壊の恐れのある箇所（連絡道路の崖部分）の確認が必要。
- ・ 市道（本町22号線）の急傾斜部分の点検と管理。

■検討の方向

- ・ 水はけの悪い箇所の把握と改善。
- ・ 市用水路への雨水流入抑制。
- ・ 急傾斜地の保全。

5-1 全学共同利用スペース

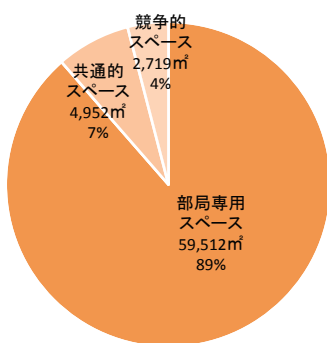
■現状・課題

亥鼻キャンパスの全学共同利用スペース（共通的空间、競争的空间）は、7,671㎡で、各部局に配置されている。（図）

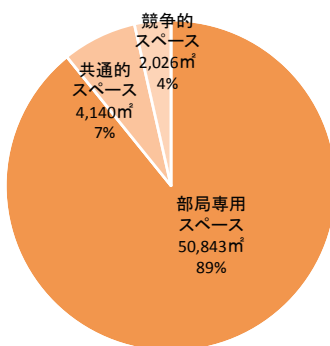
- ・スペースの活用が十分になされていない。

■検討の方向

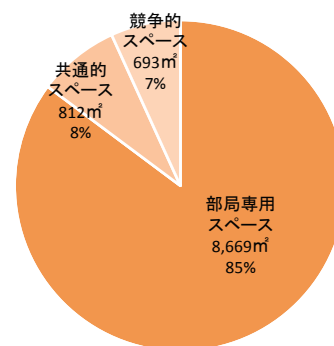
- ・ファシリティマネジメントとスペース有効利用。
- ・施設管理体制の見直し。



(図1) 全学共同利用スペース面積比



(図2) 医薬系



(図3) 看護学部・看護学研究科

その他

5-2 宿舎



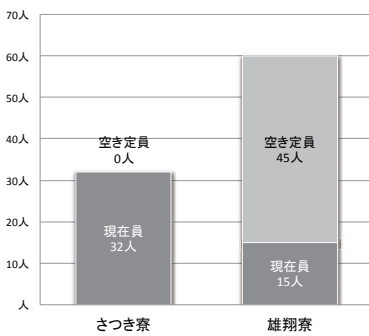
宿舎配置図

千葉大学概要より
平成 23 年 5 月

■現状・課題

亥鼻キャンパスには、学生宿舎であるさつき寮（定員 32 人）、雄翔寮（定員 60 人）がキャンパス内にあり、利用率はそれぞれ、100.0%、25.0%である。また、教職員（看護師を含む）用宿舎も配置されている。

・ 雄翔寮の稼働率が低い（図）。



(図) 学生寮入居者数

■検討の方向

・ 自己保有や民間施設借り上げなどを
含めた住居系施設の整備のあり方。



①さつき寮



②雄翔寮